

望ましい集団活動の活性化と自主的・実践的な態度を育てる特別活動の在り方

日 立 市 立 中 里 小 学 校

1 はじめに

本校は、小規模特認校であり、中里地区外からの通学者が過半数を占めている。全校児童数 29 名という少人数であるため、集会活動などで全児童に活躍の場があることが特長である。異学年交流も盛んであり、高学年のリーダーシップが発揮しやすい環境が整っている。小中一貫教育にも取り組んでおり、中学生との交流も多い。

今年度は、小規模校のよさを生かして自主的・実践的な態度を育てる特別活動の実践に努めてきた。

2 今年度の実践

(1) 小中合同の活動

ア 小中合同オリエンテーリング

中里中学校 1 ～ 3 年生と中里小学校の 5・6 年生が、地域の良さを発見しながら歩く活動を行った。



(オリエンテーリング)

イ 小中合同マナーアップキャンペーン

中学生と徒歩通学の児童が、中里中学校前の道路で、地域の方に挨拶を行った。バス通学の児童は、路上での挨拶運動を終えた徒歩通学の児童に対して、小学校昇降口で挨拶を行った。



(マナーアップキャンペーン)

(2) 小学校全体での活動

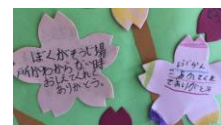
ア 全校遊び

月 1 回、水曜日昼休みに全校児童が一緒になって遊ぶ時間を設けている。計画と運営は、6 年生が 2 名ずつ当番で行った。

イ ありがとうの木

感謝を伝え合うための方法を、6 年生が中心になって考えた。

- ・月 1 回、友達にしてもらってうれしかったことを書いて貼る。
- ・個人名を挙げずに、賞賛したい行動に焦点を当てる。



(ありがとうの木)

3 成果と課題

- ・小中合同オリエンテーリングでは、中学生が計画しリーダーシップを取る姿が、良い模範となった。また、小学生が中学生と相談しながら歩くなど、異学年交流を通して下級生でも物おじせずに上級生と話し合うことができるようになった。上級生が下級生の意見に耳を傾ける姿勢もできている。
- ・小学校全体の取組では、6 年生がリーダーシップを発揮して運営することができた。マナーアップ活動の後、福祉・放送委員会の児童が、挨拶ポスターを作成した。自主的に活動しようとする意識が育まれてきた。
- ・今後も、一人一人が活躍の機会をもてるという本校の特長を生かした特別活動の設定を工夫していく。